



## 平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月11日

上場取引所 東

上場会社名 大幸薬品株式会社

コード番号 4574 URL <http://www.seirogan.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 柴田 高

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役財務本部長

(氏名) 吉川 友貞

TEL 06-6382-1135

四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	3,019	39.0	547	—	546	—	405	—
23年3月期第2四半期	2,173	△57.1	△343	—	△324	—	△709	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 407百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 △719百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	31.33	30.68
23年3月期第2四半期	△55.45	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	%	%
24年3月期第2四半期	11,156	—	8,663	—	77.5	—
23年3月期	11,253	—	8,293	—	73.6	—

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 8,648百万円 23年3月期 8,287百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,500	19.1	84	—	84	—	10	—	0.82

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	12,946,800 株	23年3月期	12,913,200 株
24年3月期2Q	126 株	23年3月期	126 株
24年3月期2Q	12,931,854 株	23年3月期2Q	12,795,604 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(5) セグメント情報等 .....	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、平成23年3月に発生した東日本大震災の影響により、生産活動や物流機能の混乱、停滞を余儀なくされ、また、原発事故による電力供給不足や放射能汚染問題にも直面致しました。その後、国内サプライチェーンの回復は進んだものの、欧州や米国における金融不安、急激な円高の進行等、新たな景気後退への懸念材料も加わったことから、依然先行き不透明な状況で推移致しました。

この様な状況の下、当社グループの当第2四半期連結累計期間の連結経営成績は、以下の通りとなりました。

医薬品事業におきましては、堅調な店頭販売を背景に国内向け出荷が前年同期に比して増加したことに加え、中国市場での販売回復により海外向け出荷も堅調であったことから、医薬品事業全体の売上高は前年同期を上回って推移致しました。

感染管理事業におきましても、著しい返品によりマイナスの売上高を計上した前年同期に比し、流通在庫の減少と出荷の増加により、売上高が顕著に回復致しました。

これらにより、当第2四半期連結累計期間の売上高は、対前年同期比846百万円増(39.0%増)の3,019百万円と大幅に増加し、売上総利益も対前年同期比546百万円増(35.1%増)となる2,100百万円となりました。

また、販売費及び一般管理費は、前連結会計年度より開始した事業構造改善施策(感染管理事業の自社在庫圧縮や希望退職者の募集等)の効果により、在庫保管料や人件費等が減少したことに加え、広告宣伝費や研究開発費等も減少したことから、対前年同期比345百万円減(18.2%減)の1,552百万円となりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の営業損益は対前年同期比891百万円増の547百万円の利益(前年同期は343百万円の損失)となり、経常損益も対前年同期比870百万円増の546百万円の利益(前年同期は324百万円の損失)となる等、損益面につきましても顕著に回復致しました。一方、確定拠出年金制度への移行等に伴う退職給付制度改定損や営業拠点(東京)移転に伴う所有不動産の売却契約に係る減損損失等の特別損失140百万円を計上致しましたが、前年同期におきましても投資有価証券評価損や減損損失等の特別損失115百万円を計上したこと、また、前年同期は法人税等調整額267百万円を計上したこと等もあり、当第2四半期連結累計期間の四半期純損益は対前年同期比1,114百万円増の405百万円の利益(前年同期は709百万円の損失)となりました。

セグメント別の業績につきましては以下の通りであります。

## (医薬品事業)

国内向け売上高につきましては、期初の流通在庫が低水準にあったことに加えて、例年以上に店頭販売促進策を強化し、当社製品の陳列スペース拡充を図ったこと等から、主力製品『正露丸』及び『セイロガン糖衣A』の店頭販売が増加し、当社の出荷も堅調に推移致しました。また、口中溶解タイプの新たな止瀉薬『ピシヤット錠』の販売開始や、小児五疳薬『樋屋奇応丸』の独占国内販売権を取得したこと等もあり、当第2四半期連結累計期間の売上高は前年同期を上回って推移致しました。

海外向け売上高につきましても、円高影響により香港市場は前年同期に比して微減となったものの、重点エリアとする中国市場での出荷が回復(前年同期は現地での販売ライセンス更新手続きに伴い出荷停止の状態)したことから、前年同期を上回って推移致しました。また、中国市場で初めて『セイロガン糖衣A』の販売も開始致しました。

これらにより、当第2四半期連結累計期間の医薬品事業の売上高は、対前年同期比473百万円増(21.2%増)となる2,710百万円となりました。また、損益面につきましては増収に伴う売上総利益の増加に加え、前年同期に比して新聞広告を減少させたことによる広告宣伝費の減少(当該減少分は冬季のTVコマーシャル放映等に使用予定)や、人件費の減少(主に感染管理事業の売上高増加に伴う医薬品事業への費用配賦割合の低下)等により、セグメント損益は対前年同期比406百万円増(46.9%増)となる1,272百万円の利益となりました。

## (感染管理事業)

前年同期においては過剰な水準にあった流通在庫が、当期において大幅に減少し、返品も縮小致しました。これらにより、主力製品である一般用の『クレベリンゲル』や『クレベリンスプレー』を中心とした出荷が堅調に推移したことから、当第2四半期連結累計期間の感染管理事業の売上高は、対前年同期比375百万円増の297百万円(前年同期は返品が出荷を上回る△78百万円の売上高)とプラスに転じ、顕著に回復致しました。また、損益面につきましては、増収に伴う売上総利益の増加に加え、自社在庫の圧縮に伴う在庫保管料等の費用の減少はあったものの、セグメント損益においては、利益水準までには至らず、40百万円の損失(前年同期は422百万円の損失)となりました。

(その他事業)

その他事業につきましては、主に木酢液を配合した入浴液や園芸用木酢液等の製造販売を行いました。売上高は対前年同期比2百万円減(15.9%減)の11百万円となり、セグメント損益は前年同期に比し、損失幅は縮小したものの9百万円の損失となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①財政状態

当第2四半期連結会計期間における資産合計は11,156百万円(前連結会計年度比96百万円減)となりました。また、負債合計は2,493百万円(同467百万円減)、純資産合計は8,663百万円(同370百万円増)となりました。前連結会計年度からの主な変動要因は、売上債権の増加に対し、現金及び預金やたな卸資産の減少等による流動資産53百万円の減少、営業拠点(東京)移転に伴う所有不動産の減損損失等による固定資産43百万円の減少、退職金支払いや広告宣伝に係る未払金の減少等による流動負債579百万円の減少、退職給付制度改定に伴う退職給付引当金の増加等による固定負債112百万円の増加、また、四半期純利益の計上等による利益剰余金340百万円の増加であります。なお、自己資本比率は前連結会計年度から3.9ポイント上昇し、77.5%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況につきましては、現金及び現金同等物(以下、資金)が前連結会計年度より491百万円減少し、当第2四半期連結累計期間末残高は、3,582百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は361百万円となりました。税金等調整前四半期純利益405百万円に加え、減価償却費122百万円の計上や退職給付引当金の増加119百万円、たな卸資産の減少75百万円等の資金増加要因に対し、売上債権の増加703百万円や未払金の減少485百万円等の資金減少要因が上回ったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は73百万円となりました。主に医薬品事業に係る設備投資の支払いによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は53百万円となりました。主に配当金の支払いによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の通期連結業績予想につきましては、平成23年5月13日に公表致しました予想値から変更はありません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,185,590	3,670,528
受取手形及び売掛金	1,322,082	2,024,344
商品及び製品	619,447	665,889
仕掛品	597,929	470,196
原材料及び貯蔵品	309,289	316,200
その他	406,105	245,123
貸倒引当金	△9,217	△14,728
流動資産合計	7,431,226	7,377,554
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,110,914	1,138,801
機械装置及び運搬具(純額)	212,721	236,020
土地	1,552,337	1,545,038
その他(純額)	298,855	143,231
有形固定資産合計	3,174,828	3,063,093
無形固定資産	77,470	73,177
投資その他の資産	569,786	642,677
固定資産合計	3,822,085	3,778,948
資産合計	11,253,312	11,156,502
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	314,443	350,122
未払法人税等	5,781	18,796
返品調整引当金	246,000	245,000
賞与引当金	123,940	48,497
その他	1,350,815	799,142
流動負債合計	2,040,980	1,461,559
固定負債		
退職給付引当金	309,830	429,658
役員退職慰労引当金	6,400	7,500
長期未払金	565,700	565,700
その他	37,196	28,624
固定負債合計	919,126	1,031,483
負債合計	2,960,107	2,493,042
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	137,064	145,783
資本剰余金	48,293	57,012
利益剰余金	8,212,800	8,553,352
自己株式	△204	△204
株主資本合計	8,397,954	8,755,944
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,313	12,767
為替換算調整勘定	△121,331	△120,702
その他の包括利益累計額合計	△110,017	△107,935
新株予約権	5,268	15,450
純資産合計	8,293,204	8,663,459
負債純資産合計	11,253,312	11,156,502

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	2,173,178	3,019,854
売上原価	667,976	920,785
売上総利益	1,505,201	2,099,068
返品調整引当金戻入額	97,000	246,000
返品調整引当金繰入額	48,185	245,000
差引売上総利益	1,554,016	2,100,068
販売費及び一般管理費	1,897,479	1,552,393
営業利益又は営業損失(△)	△343,462	547,674
営業外収益		
受取利息	915	953
受取配当金	1,543	911
受取賃貸料	8,054	2,521
受取保険金	—	7,980
保険解約戻金	48,224	—
その他	6,445	7,707
営業外収益合計	65,183	20,074
営業外費用		
為替差損	40,545	20,425
その他	5,255	841
営業外費用合計	45,800	21,266
経常利益又は経常損失(△)	△324,080	546,481
特別損失		
固定資産除却損	1,085	—
減損損失	48,718	35,298
投資有価証券評価損	65,585	—
災害による損失	—	5,432
退職給付制度改定損	—	100,017
特別損失合計	115,390	140,747
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△439,470	405,734
法人税、住民税及び事業税	2,160	10,979
法人税等調整額	267,941	△10,363
法人税等合計	270,102	616
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△709,572	405,117
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△709,572	405,117

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△709,572	405,117
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	16,942	1,453
為替換算調整勘定	△26,639	629
その他の包括利益合計	△9,697	2,082
四半期包括利益	△719,269	407,199
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△719,269	407,199
少数株主に係る四半期包括利益	—	—



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△439,470	405,734
減価償却費	113,384	122,681
減損損失	48,718	35,298
退職給付引当金の増減額(△は減少)	10,607	119,828
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△18,300	1,100
返品調整引当金の増減額(△は減少)	△48,815	△1,000
賞与引当金の増減額(△は減少)	67,512	△75,487
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1,997	5,508
受取利息及び受取配当金	△2,459	△1,864
固定資産除却損	1,085	—
投資有価証券評価損益(△は益)	65,585	—
為替差損益(△は益)	28,052	9,047
売上債権の増減額(△は増加)	△444,695	△703,040
たな卸資産の増減額(△は増加)	△124,308	75,064
仕入債務の増減額(△は減少)	△392,284	35,900
未払金の増減額(△は減少)	92,474	△485,317
その他	△168,419	96,080
小計	△1,209,334	△360,465
利息及び配当金の受取額	2,458	1,392
法人税等の支払額	△816,217	△2,827
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,023,093	△361,900
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△24,465	△22,097
定期預金の払戻による収入	63,210	47,068
有形固定資産の取得による支出	△38,677	△103,524
有形固定資産の売却による収入	105,000	19,000
投資有価証券の取得による支出	△710	—
その他	258	△14,436
投資活動によるキャッシュ・フロー	104,614	△73,990
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
リース債務の返済による支出	△8,378	△8,626
自己株式の取得による支出	△16	—
配当金の支払額	△125,789	△62,176
新株予約権の行使による株式の発行による収入	30,517	17,438
財務活動によるキャッシュ・フロー	△103,667	△53,364
現金及び現金同等物に係る換算差額	△27,218	△1,915
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,049,365	△491,171
現金及び現金同等物の期首残高	5,055,405	4,073,490
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,006,039	3,582,319

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	医薬品事業	感染管理事業	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	2,236,991	△78,059	14,246	2,173,178	—	2,173,178
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,236,991	△78,059	14,246	2,173,178	—	2,173,178
セグメント利益又はセグメント損失(△)	866,243	△422,435	△14,757	429,050	△772,512	△343,462

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△772,512千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△772,512千円が含まれております。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

各報告セグメントに配分していない全社資産において、土地等の譲渡契約の締結に伴い、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては48,718千円であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	医薬品事業	感染管理事業	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	2,710,492	297,387	11,974	3,019,854	—	3,019,854
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,710,492	297,387	11,974	3,019,854	—	3,019,854
セグメント利益又はセグメント損失(△)	1,272,757	△40,143	△9,069	1,223,545	△675,870	547,674

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△675,870千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△675,870千円が含まれております。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「医薬品事業」及び「感染管理事業」セグメントの資産において、土地等の譲渡契約の締結に伴い、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては35,298千円であります。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。